

第42回 全日本珠算技能競技大会 要項

公益社団法人 全国珠算学校連盟
〒464-0850 名古屋市千種区今池 3-1-3
TEL (052)732-5051 / FAX 733-5413

1. 開催趣旨

そろばんによる計算技術は、暗算の力を飛躍的に高め、日常生活のなかで、広く活かされています。また、「読み・書き・そろばん」は基礎学力の中核を成すもので、児童・生徒のそろばん技術向上への努力を通して、集中力や計数感覚が養われることが広く理解され、そろばん学習の効果が見直されています。近年の情報化社会の中でも、その技術の発展を担う人材には、より高度な計数感覚が要求されており、将来、そろばんに精通した計数感覚に優れた若い人たちが、その一翼を占める可能性も高いと思われます。

全国珠算学校連盟は、内閣府に認可された珠算教育の調査・研究並びに珠算教育の振興をはかることを目的とする公益法人です。本競技大会は、世界に誇るそろばんを介した、日本の伝統的な計算文化の一層の理解と、振興をはかると共に、会員相互の交流と教育技術の研鑽を目的として開催いたします。関係各位のご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。

2. 主催 公益社団法人 全国珠算学校連盟
3. 後援 文部科学省（予定）ほか
4. 開催日時 令和6年7月30日（火） 午前9時30分（受付：9:00～）（予定）
5. 会場 ホテル ルポール麹町 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-3
TEL(03)3265-5361・FAX(03)3265-6548 / URL : <http://www.leport.jp>

6. 参加資格

- (1) 珠算技術の向上に努め、大会出場を希望する方は自由に参加できます。
- (2) 但し、大会の運営管理を円滑にするために、連盟加盟校に所属する児童・生徒及び自由参加を希望する方で、支部予選会において、次の要項により、選手として選出された方々としします。
 - ① 第一部（小学生の部）（本大会に出場する場合は、原則として保護者が引率してください。）
第二部（中学生以上の部）とする。
 - ② 団体競技の選手は各支部（都道府県）単位に選出する。
 - ③ 団体競技の支部代表選手は、第一部、第二部とも3名以上を単位とする。
 - ④ 各都道府県選手の人数は別表の通りとする。

7. 参加料（昼食代込）

- (1) 連盟加盟校に所属する者 1名 7,000円
- (2) 自由参加者 1名 9,000円（但し、都道府県支部の許可を得ること。）
※別表に記載の人数分については、7,000円。自由参加者は（各支部）5名までとし、参加料9,000円。
※ご父兄及び付添の方の昼食につきましては、本部では手配しておりませんので、各自で適宜お取りください。

8. 参加申込

- (1) 各支部（都道府県）の責任者は、オンラインで参加選手を令和6年5月30日までに、エントリー入力すること（※事前参加報告書及び予選問題申込書は令和6年2月28日までに提出してください）。

9. 競技委員

連盟会長は会員の中より、競技大会委員長を委嘱し、委員長は競技委員を選び構成する。

10. 競技は個人競技、各支部団体競技（都道府県）、読上算競技、読上暗算競技、フラッシュ暗算競技とする。

(1) 個人競技

- ①（競技の方法）個人競技は、乗暗算・除暗算・見取暗算・乗算・除算・見取算の六種目とし、種目ごとに制限時間を示した問題により競技を行い、その合計点をもって順位を決定する。
- ②（競技の程度）乗暗算・除暗算・見取暗算・乗算・除算・見取算の六種目ともピラミッド方式とする。問題の程度は問題集を参照のこと。
- ③（制限時間）
(イ) 乗暗算 30 題 (ロ) 除暗算 30 題 (ハ) 見取暗算 15 題 (イ)(ロ)(ハ)各 2 分
(ニ) 乗算 30 題 (ホ) 除算 30 題 (ヘ) 見取算 15 題 (ニ)(ホ)(ヘ)各 5 分
但し、見取算、見取暗算については、第 30 回大会よりマイナス(補数)計算の問題が含まれています。

(2) 団体競技

第一部（小学生の部）、第二部（中学生以上の部）とも支部単位ごとに個人競技の高得点者 3 名を選抜し、その総得点により順位を決定する。

(3) 読上算競技、読上暗算競技、フラッシュ暗算競技

競技の方法は読上算競技、読上暗算競技、フラッシュ暗算競技とも次の通り実施する。

▽決勝：一問題ごとに競技を行い順次入賞者を決定する。

問題の程度は演技者に一任する。但し、答案記入の一字訂正及び書き直しは無効（失格）とする。

(4) 同点の場合（団体・個人総合競技）

- ① 同点者が、優勝・準優勝に係る時は、同点決勝にて順位を決定する。
- ② 2 位～3 位の場合は、高得点者を上位とする。
- ③ なお決定しない場合は、同点決勝にて決定する。
- ④ 決勝は、1 団体、または 1 名を残して、競技終了とする。
(詳細は、競技開始時に説明をする。)
- ⑤ 決勝問題

乗暗算 6 題／乗算 6 題／除暗算 6 題／除算 6 題／見取暗算 3 題／見取算 3 題

問題の程度は総合問題に準ずる。※連盟ホームページの会員ページにサンプルを掲載しています。

11. 採点

全ての競技について、選手による交換採点とする。

但し、同点決勝については、競技委員による採点とする。

12. 選手及び競技上の注意

(1) 答案記入上の注意

- ① 答は定めた欄の中（訂正した場合を除く）にはっきり書くこと。
- ② 答の数字を書き違えたときは、その答の全数字を横線で消して書き直すこと。

但し読上算競技、読上暗算競技、フラッシュ暗算競技の答の記入については、一字訂正および書き直

しは無効とし認めません。

③ 答の1の位以上には、3桁毎のコンマ（，）を必ず記入すること。

(2) 次の注意に反したときは無効とする。

① 計算用意の合図があるまでは、そろばんを机の左方に縦に置くこと。

② 問題配布を受けても合図があるまでは、そのまま机の上に置き、手は膝の上に置くこと。

③ 答案には氏名を書かないこと。

④ 合図によって選手番号を記入し、すぐ元のようにふせ机の上に置き、手は膝の上に置くこと。

⑤ 声を出して数を読み取りながら計算をしないこと。

⑥ 計算開始及び終了はすべて「競技委員の合図」によること。

⑦ 終了の合図によって運算または答の記入を直ちに止め、答案をふせ、手を膝の上に置くこと。

13. 入賞 (入賞に関して次のとおり定める。但し、多少の入賞者数を変更する場合があります。)

(1) 個人競技 優勝者には文部科学大臣賞(予定)を授与する。

① 第一部(小学生の部)： 優勝 1名/準優勝 1名/二位 10名/三位 10名

② 第二部(中学生以上の部)： 優勝 1名/準優勝 1名/二位 10名/三位 10名

(2) 団体競技

第一部、第二部とも各支部個人競技の高得点者3名の総得点により、団体競技として入賞を次の通り、決定する。

① 第一部(小学生の部) 優勝支部には文部科学大臣賞(予定)を授与する。

優勝 1支部/準優勝 1支部/二位 3支部/三位 5支部

② 第二部(中学生以上の部) 優勝支部には文部科学大臣賞(予定)を授与する。

優勝 1支部/準優勝 1支部/二位 3支部/三位 5支部

(3) 読上算競技、読上暗算競技、フラッシュ暗算競技

① 第一部(小学生の部)： 優勝 1名/準優勝 1名/二位 5名/三位 5名

② 第二部(中学生以上の部)： 優勝 1名/準優勝 1名/二位 5名/三位 5名

14. 地方予選

全国の各支部における地方予選については第6項の参加資格に基づいて支部ごとに競技規程(第10項)

(1)の②競技の程度を考慮の上、模擬問題を参考に、各支部により締切日の5月20日頃までに実施し、支部の代表選手を定めること。

15. 問題の程度等

(1) 読上暗算

決勝： 3~12桁内(上から一算落とし 大きくは入れない 10口)

(2) 読上算

決勝： 5~16桁内(上から一算落とし 大きくは入れない 10口)

(3) フラッシュ暗算

決勝： 3桁15口から始めます。

16. その他

- (1) 選手申込みは各支部単位に受付順にオンラインで受理し、直ちに選手番号・氏名が記載された選手票（兼参加資格認定証）を申込み支部に返送します。各選手は、大会当日必ず持参して下さい。
- (2) 大会当日の選手席は、参加申込み状況から北の北海道から順番に座席を決定します。
- (3) 宿泊については、各自での手配となります。
- (4) その他、本要項で変更があった場合、または本大会に関する必要な事項については、随時、発表・通知します。

【交通案内】

